

たのしい運動会～

くめじま 議会だより



2025.12.1
No.94

久米島町議会



久米島町議会
議会中継



久米島町の人口・世帯数 (2025年9月末現在)

男 3,736人 女 3,240人
計 6,976人 3,917世帯

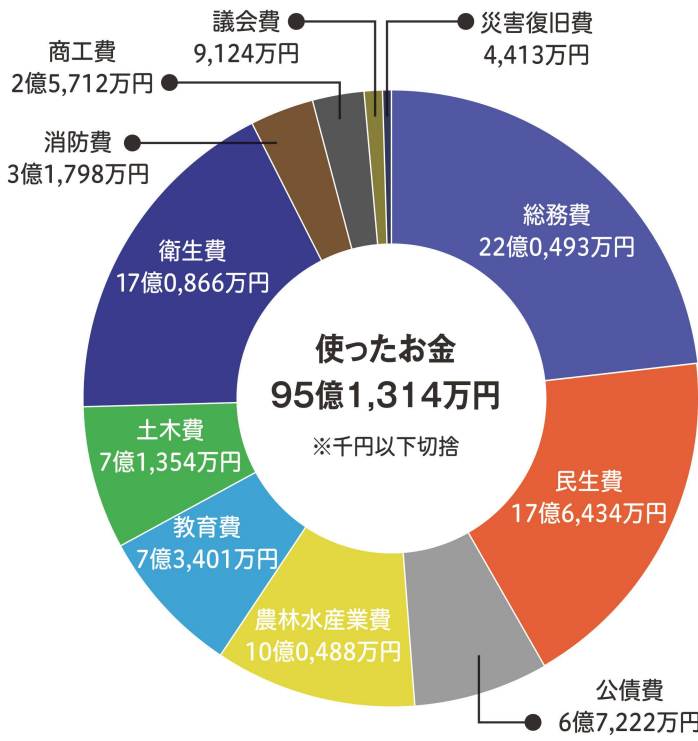
9月定例会

令和6年度一般会計決算 ……P2～3
9月定例会・臨時会で決まったこと…P4～5
町政を問う一般質問 ……P6～18
委員会・議員活動レポート ……P19
議会のうごき・編集後記 ……P20

会計 決算認定

2億円黒字決算(万円以下切捨)

計(2会計)、事業会計(2会計)決算が賛成多数で認定されました。



実質収支に関する調書 (千円以下切捨)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源 (繰越明許費繰越額・事故繰越し繰越額)	実質収支額
金額	98億9,773万円	95億1,314万円	3億8,459万円	9,432万円	2億9,027万円

(金額の差引等は一致しません)

基金(資金積立)残高

基金名	残高
財政調整基金	22億8,239万円
地域振興基金	10億4,991万円
減債基金	6,063万円
地域福祉基金	5,536万円
土地開発基金	1億9,385万円
中山間ふるさと農産活性化基金	1,882万円
庁舎等建設基金	9億4,356万円
環境保全基金	91万円
国保保険給付準備基金	0万円
ふるさと納税基金	2億3,179万円
前村幸秀人材育成基金	8,060万円
九条交付金事業基金	6,215万円
風の帰る森プロジェクト応援基金	179万円
美ら海環境基金	727万円
森林環境譲与税基金	429万円

『繰越明許費』とは：歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費
『事故繰越し』とは：年度内に執行を予定していた歳出予算のうち、避けがたい事故のため年度内に支出が終わらなかったものを翌年度に繰り越して使用すること

令和6年度 特別会計決算認定 (単位：千円以下切り捨)

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	1,269,322,000	1,189,807,000
後期高齢者医療特別会計	93,242,000	93,220,000
下水道事業会計	280,906,000	269,221,000
水道事業会計	214,727,000	200,070,000

▲※基金とは条例により、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て又は、定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産をいう。資金残高が多い方が貯金が多いといえる。

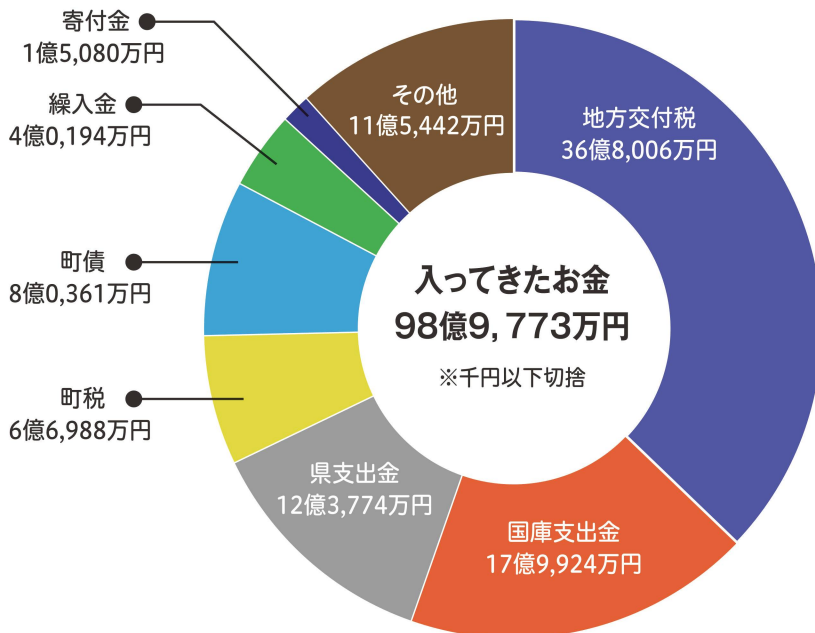
令和6年度 一般

歳入:98億円 歳出:95億円

令和7年9月定例会（第6回）で令和6年度一般会計、特別会計（

決算 審査 報告

決算審査は、議長を除く13人の委員（議員）で構成された特別委員会を設置し、9月16日（火）、17日（水）の2日間にわたって審議した。審査の中から主な内容を報告する。



一般会計

【歳入】

町税：「町税」は、前年度と比較すると、313万8千円増の6億6,988万7千円、歳入全体の6.8%となり、徴収率は、対前年度微減（△0.2%）の96.7%となった。

寄付金：1億5,081万円で、対前年比868万2千円の減、そのうち、ふるさと納税は、個人版と企業版を合わせ1億4,577万9千円で、対前年度比777万6千円の減となった。ふるさと納税は、本町の知名度向上や財政基盤の強化につながることから、寄付者の興味を引くような魅力的な返礼品を増やすなどの取組を期待する。

【歳出】

総務費：「広報事業」は、テレビのデータ放送を活用した情報発信を行っているとのことであった。常に最新の情報発信を心掛けて取り組むことを期待する。財政指標は、経常収支比率が93.9%と上昇傾向にある。財政硬直が進む中で、現状を正確に把握し、経常収支比率の改善と自主財源の拡大という目標を設定し、持続可能な地域づくりに向けた財政運営に取り組んでいただきたい。

消防費：「火災救急救助体制強化事業」において、災害用と調査用、計2機のドローンを購入。ドローンは災害現場の状況把握や情報収集において、重要な役割を果たします。これらの機能を最大限に生かすため、操縦技術の向上に努め、災害対応の強化に役立てるよう期待したい。今後も町民の生命・財産を守るため、職員一丸となって取り組んでいただきたい。

教育費：中学校運営事業で実施している、英語検定補助の成果として、合格率が上昇している状況がみられる。今後とも拡充も含め、各種検定受験支援の継続を望む。「前村幸秀人材育成事業」は、基金の減少が懸念される。前村氏の遺志を引き継いでいけるよう、今後も基金の継続に努めていただきたい。

特別会計・事業会計

●国民健康保険特別会計

高額療養費・保険事業：高額療養費では、対前年度比で一般被保険者療養給付費2,277万4千円、一般被保険者高額療養費1,554万2千円の増、出産育児一時金173万9千円の減となっている。

保険事業費では、健診受診率は速報値で45.2%と前年より3%伸びているが、依然低い状況にあり、町民への広報や周知徹底を図り、受診率の向上に努めるよう取り組みを求めます。

●後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料：年金から天引きされる特別徴収保険料3,593万2千円（徴収率100%）、納付書払いとなる普通徴収分が2,010万9千円（徴収率100%）となっている。

水道事業会計：水道事業の業務状況は、年度末給水栓数は、4,011栓で、対前年度比8栓の増、給水人口は、6,976人で、前年度より109人の減となった。営業状況は、水道事業収益が2億1,472万7千円、水道事業費用は2億7万1千円、当年度純利益は1,465万6千円となっている。前年度からの繰越利益剰余金9,668万5千円、当年度純利益1,465万6千円、未処分利益剰余金変動額4,317万1千円の合計1億5,451万2千円が、当年度利益剰余金となり、翌年度繰越となった。

下水道事業会計：接続戸数は前年度から14戸増の1,863戸となっている。引き続き接続向上に努めていただきたい。下水道使用料は、現年・過年度分あわせて192万9千円の収入未済の滞納となっている。未済金の徴収強化に努めていただきたい。

一般審議討論 (抜粋)

賛成 反対

討論

賛成討論

【喜久里 猛議員】

協議したという話があったが、観光協会、商工会を巻き込んで協議を行ったのか。その辺の詳しい話がなく甚だ疑問である。商工観光課と袖組合だけで協議を行っても、話にならないという話です。観光事業に携わる以上は休みがあったらいけないというのが私の理念です。交代して勤務するという事です。今回この条例が可決された後、定休日を追加することによって、運営上不具合が出たら、条例改正案出して欲しい。それはいろんな案が出てくると思いますよ。ということでこの案には賛成ですということです。

【新垣 幸子議員】

働き方改革関連法が施行されており、その中で有給休暇の取得の義務づけがされており、労働者の心身のリフレッシュを促すことを大きな目的としている。2点目として、職員の増も考えられるが、運営状況においては予算も伴うので、費用対効果を考慮すると非常に採算性が取れるのか疑問視されることが考えられる。以上2点の理由から私は賛成をいたします。

反対討論

【保久村 登議員】

従業員を確保できるに足りる委託料金の積み、あるいは補助金の増額、それを検討した上で組合として従業員を採用、確保できるのかどうか。それを見極めた上でこの条例を改正するというような手段のほうがよいのではないかと。そういった理由で改正案には反対いたします。

【盛本 實議員】

説明の中で、1週間の中で水曜日の入館者が少ないと言う割には数字も把握していない。閉館する理由として、雇用が難しいというわりには条例では開けることもできると、相反している。人間がいけないと言いつつ開館することもできると。それに対してやろうという感覚、そういう部分がないか。そういう言葉が出てくるのかと非常に不思議だ。説明不足の分があるので、基本的には賛成しかねる。

【宇江原 総清議員】

執行部が説明についてはっきりしていない。はっきりしていないものに手を挙げるわけにはいかない。曖昧なものに手を挙げたらこれは非常に失態の事項です。私は、皆さん方出直してこいと、こういうふうに言いたい。したがって今のところは反対します。

賛否が分かれた議案審議結果		賛成は○ 反対は× 退席・欠席一 議長は裁決に加わらない													
氏名		棚原	富永	喜久里	喜久里	真栄平	幸地	保久村	盛本	吉永	新垣	宇江原	赤嶺	田端	
件名		哲也	肇	猛	強	建正	猛	登	實	将志	幸子	総清	秀徳	努	
久米島紬伝統工芸産業振興施設条例の一部を改正する条例		○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	

同意

- 久米島町固定資産評価審査委員の選任

ひらた あきら
平田 明氏
みやざと
宮里 キミ子氏



議員提出 (詳細は議会 HPにて掲載)

決議

- 県産品・地産品の優先使用に関する決議

陳情

- 字奥武からの陳情

要請

- カンジダム周辺整備に関する要請

第5回臨時会

会期：令和7年
8月4日

令和7年度補正予算

- 一般会計補正予算 (第4号)
91億2,193万円 (448万円増)



条例改正

- 久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例
本町立学校等の適正規模・適正配置について、学識経



験者や保護者、地域住民等から広く意見を聴取し、議論することを目的に「久米島町立学校等適正規模・適正配置検討審議会」を設置するため、久米島町附属機関の設置に関する条例の一部を改正するものである。

反対：保久村 登、宇江原 総清

- 久米島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
本町立学校等の適正規模・適正配置について、学識経験者や保護者、地域住民等から広く意見を聴取し、議論することを目的に「久米島町立学校等適正規模・適正配置検討審議会」を設置するため、久米島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するものである。



反対：保久村 登

- 球美中学校体育館屋根改修工事請負契約について
球美中学校体育館屋根改修工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。
- 沖縄地区(久米島)中層型浮魚礁回収・設置工事(R7)請負契約について
沖縄地区(久米島)中層型浮魚礁回収・設置工事(R7)の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。



定例会・臨時会で決まったこと

9月定例会

令和7年9月(第6回)定例会は、9月8日から29日の22日間の日程で行われ、議案12件、報告3件、同意2件、認定5件を審議した。議員13人が登壇し一般質問が行われた。

令和6年度決算認定(P2～3)

- 一般会計歳入・歳出決算認定
反対：保久村登
- 国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定
- 後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定
- 下水道事業会計歳入・歳出決算認定
- 水道事業会計決算認定



令和7年度補正予算

- 一般会計補正予算(第5号)
94億9,482万円(3億7,288万円増)
- 一般会計補正予算(第6号)
95億4,935万円(5,453万円増)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
12億5,326万円(8,857万円増)



条例の改正

- 久米島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
地方公共団体情報システムの標準化に関する法律並びに成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律及び住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令等に基づき印鑑登録事務に係る印鑑登録原票の調製方法の変更等を行うため、条例の一部を改正しようとするものです。
 - 久米島町職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例
「地方公務員の育児休業等に関する法律」の改正の公布に伴い、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするため、国に準じて所用の規定整備を行う必要がある。
 - 久米島町放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
人材不足と地域格差により直ちに基準を満たすことが困難であるため、事業の安定的継続と制度の円滑な定着を図る観点から、経過措置を延長する必要がある。
 - 久米島紬伝統工芸産業振興施設条例の一部を改正する条例
施設職員の有給休暇や休日出勤代休の取得が困難な状況であるため、定期休館日を追加し、職員の労働環境の改善と業務の効率化を図る必要がある。
- 詳細は次ページ一般審議討論をご覧ください。



一般審議



- 久米島町過疎地域持続的発展計画の変更について
久米島町過疎地域持続的発展計画に新たな事業を追加及び事業名の変更を要するため、同計画を変更しようとするものである。
- 清水第2地区2号、3号沈砂池設置工事(R7)請負契約について
清水第2地区2号、3号沈砂池設置工事(R7)の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。
- 令和6年度久米島町水道事業会計、下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
令和6年度久米島町水道事業会計決算、下水道事業会計決算における未処分利益剰余金の処分を行うには、地方公営企業法第32条第2項の規定により議会の議決を必要とする。

報告

- 久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告について
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和6年度における久米島町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告する。
- 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の規程に基づく健全化判断比率

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	-	-	5.5	90.8
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

備考：健全化判断比率のそれぞれの欄において、「-」と表記されている場合は、実質赤字額または連結実質赤字額がないことを表す。

資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第1項の規程に基づく資金不足比率

(単位:%)

会計区分	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	

備考：各会計の資金不足比率の欄において、「-」と表記されている場合は、資金の不足が発生していないことを表す。

- 専決処分(清水第2地区沈砂池設置工事(R6)請負契約について)の報告について
令和6年第7回久米島町議会定例会で議案第46号をもって議決された「清水第2地区沈砂池設置工事(R6)請負契約について」一部変更の必要が生じたため、地方自治法第180条の1項の規定により専決処分する。



保久村 登 議員

問 改正バス条例の是正は

答 美崎校区住民と意見交換していきたい

問 久米島町有償バス条例の目的は何か。

答 1条に「住民福祉に寄与するため」とある。

問 それは、通勤、通学、通院、買物など地域住民の日常生活を支える移動手段としての役割を果たすことによって実現できるものだが。

答 利用状況など調査した結果、通学、通院等考慮して今回条例を改正した。

問 真謝発比嘉経由で久米島高校に至る路線は、美崎校区住民にとって不可欠の移動手段であった。これは、かつても今も変わらない。

答 確かに美崎校区は8時、8時半発のバスで、高校生も通学していたかと思う。今回の改正で、遠くはなるが宇江城廻りで通える。

問 真謝から①久米島高校、②久米島製糖、③町役場までの移動手段は。

答 改正後は、①までは兼城港・比屋定イーフ線で、②と③は更に兼城港・嘉手刈イーフ線で行くことになる。

問 各地点までの運行距離と運賃額は。

答 ①高校までが17km、270円(回数券220円)、②久米島製糖までが21km、330円(回数券260円)、③役場までが25km、450円(回数券360円)である。

問 比嘉経由の場合は。

答 ①高校までが9km、180円、②久米島製糖までが8km、160円、③町役場までが4km、120円である。

問 今回の改正で、美崎校区住民に与えた影響は大きい。

答 改正後、距離は長くなり、料金も高くなっていることは理解している。

問 真謝8時のダイヤに代わるものとして、10時20分兼城港発宇江城経由路線があるという説明があったが、それで、役場や高校へ通勤通学できるのか。

答 真謝の方の買物に対応して、8時だとまだ店が開いていないということで、設定した。

問 美崎校区住民の通勤通学に応えようという気持ちは全くない。

答 通勤、通学、通院については、

一般質問の記事では、質問と答弁の内容を各議員自身が要約して掲載しています。一般質問の全文は久米島町議会ホームページ内「会議録」よりご確認ください。 ※ここでは年号(令和)を一部省略しております。

7時40分に真謝を通るダイヤで、到着については影響ない。
問 距離が長くなり、料金が高くなっても、この程度は我慢せよというのか。

答 全体的な見直しということをやったが、不便を感じているところに関しては、今後地域の皆さんと意見交換していきたい。

問 2021年6月29日発生の真謝のチヂ川氾濫の原因と対策は

答 集中豪雨と満潮時が重なったことが要因だと考えるが、チヂ川に流れ込む水路が、合流箇所が狭くなっていることが原因だという指摘もあり、原因究明をした上で、対策の事業化に取り組みたい。

問 航空運賃の離島住民割引制度は維持されるか

答 新聞報道は、航空会社に対する赤字補填のための補助制

度に関するもので、これは離島住民割引制度とは違う。離島割が廃止されることはないことを確認している。



真謝からふさんな山を臨む



上阿嘉付近



久米仙付近



田端 努 議員

問 外国人人材派遣登録支援機関との話し合いの進展は

答 出来るだけ前向きに検討し、実際大使館に出向いて調整したい

問 本町内の外国人人材の人数は。

答 7月末現在で、特定技能実習生は10名、技能実習生が30名、その他11名いる。

問 外国人人材の出身国は。

答 インドネシア・ネパール・韓国・中国・ベトナムの国籍を確認している。

問 外国人人材が働いている職種は。

答 農業・漁業ほか製造業・宿泊業・医療・福祉の分野、職種となっている。

問 各事業所からの要望は。

答 外国人人材の管理費用等の負担が大きい、繁忙期の人手不足、介護職や事務職での人手不足、募集をかけても人材確保ができないなどがある。

問 今後行政としてどのように動いていくか。

答 外国人人材のスムーズな入れ替えが必要、姉妹都市提携を結ぶのか情報収集している。海運業においても人材不足があり、海運会社からも本町と包括提携を近々締結して人材養成など検討したい。

問 期日前投票所を旧具志川村側にも設置を

答 投票率の向上と投票しやすい環境整備とあわせて対応する

問 近年の投票率は。

答 今年7月20日の参議院議員通常選挙が49・2%で、令和6年度の第50回衆議院議員総選挙51・58%、沖縄県議会議員選挙51・19%、令和5年度町議会議員選挙67・44%、令和4年度沖縄県知事選挙52・19%、久米島町長選挙71・65%と投票率が下がっている。

問 全体の投票に対する期日前投票の割合は。

答 参議院議員通常選挙52・95%、衆議院議員総選挙66・67%、県議会議員選挙46・17%、町議会議員選挙46・70%、県知事選挙59・05%、町長選挙51・27%と高い水準となっている。

問 期日前投票期間中、仲里庁舎と具志川と日にちを半分に分けて投票することはできないか。

答 前半後半で2か所設置出来るか慎重に検討していきたい。

問 第3投票所の旧久米島中学校体育館を今後も使用していくのか。

答 施設の老朽化や空調設備の不備、投票所につながる集落道の危険性等の課題が多く、別の施設を使用することも検討していく。

問 校区内での施設の検討しているか。

答 同地区の久米島町複合型防災地域交流センター、通称ほんのりを検討している。

問 当校区字3地区の区長との意見交換の反応は。

答 8月の区長会終了後に課題について話し合ったが、そのままの地区ではなく、ほんのもりでの実施もいいのではないかとの感触は頂いている。

問 危険木の具体的な箇所を伝えたが視察を行ったか

答 仲地の危険箇所は所有者を確認して伐倒に結び付けたい。

問 倒木による人的被害があった場合その責任は。

答 町が総合賠償保険に加入しているが、該当するか確認中。

問 民営地内の墓地等で、個人で撤去出来ない大きな木の危険木を行政で計画、予算化して撤去を。

答 墓がある場所に大きな枯れ松が多く点在している、今後要望があれば検討していく。

問 危険木がある場所によって担当課が違うようだが、相談の受け入れ一本化を。

答 窓口として環境保全課に一本化して周知していく。

問 今後の町民への周知方法は。

答 公式LINE、町のホームページ、FMくめじまのラジオ、10月の広報誌にも掲載予定。



字仲地の危険な枯れ松



盛本 實議員

問 地域団体の活性化に向けて

答 地域活動の停止、休止状況が続いている

問 以前は各集落の区長を中心に、老人会、婦人会、成人会、青年会及びその他、町民の生活と共に歩んできた各種団体等が存在し活発な地域活動があった。しかしながら、近年ほとんどの団体が停止、休止状態にあり地域活動の停滞、衰退化が見受けられる。現状を鑑み、町長及び教育長はどのように感じているのか。

答 少子高齢化の進行や、各団体の人材不足により、活動の停止・休止が生じており、自治会の組織力の低下を招いている。

問 「地域活性化」自治体の活性化」に繋がると思うが。

答 地域の活性化は自治体の機能強化と結びつくものであり、その実現には地域自らの主体性を引き出す取り組みが必要である。

問 地域の活性化を目指す為には地域にリーダー的人材が必要と思われるが、リーダー育成への取り組みは考えているのか。

答 各団体を所管する部署において、各団体の現状、会員の内

構成、活動実績等々を把握し方策については各団体と連携していく。

問 「久米島便補助金廃止」対策

答 補助交付未決定の為、回答控える

問 先般の新聞、TVニュース報道において「久米島便補助金廃止の恐れ」の情報が広まり町民の不安が募っている。この情報内容が事実とすれば、町民や産業界に及ぼす影響は。

答 運賃の見直し、運航便数の見直し等が考えられ町民生活、観光産業界や農水産業の島内消費減などの影響が生じる可能性はある。

問 低所得者（町民の約7〜8割）の現状で航空運賃が値上がりした場合の対策は。

答 離島割引には影響はない。

問 今後の対策は。

答 第3次観光振興基本計画の施策を着実に実行。そして町民の誤解や不安を与えないように広報やその他の方法で

メッセージを発信する。



懸念される久米島便の補助廃止

問 久米の五枝の松、伊敷索城跡の現状

答 久米の五枝の松は天然記念物の指定解除。伊敷索城跡は関係機関と連携し対策を検討

問 久米の五枝の松は、ほぼ枯死状態にあり、素人目では復活は難しいと思われるが、専門の見地からの判断は。

答 専門家の見解だとほぼ枯死に至る症状だと判断である。今後は国、県、森林専門家、樹木医と連携し、正式に枯死の判断を行った上で、天然記念物の指定解除を進めていく。

問 今後の対応を伺う。

答 町民の皆様のご意見を伺い



久米五枝の松、伊敷索城跡の現状

ながら、利活用を検討する。

問 伊敷索城跡の崩落状況は。

答 ドローンによる写真撮影測量実施後も、目視による観察を続けている。現状として大きな崩落は認められない。

問 今後の対策は。

答 今後も県や関係機関と連携して、対策を検討していく。



赤嶺 秀徳 議員

問 海岸漂着ごみ対策は

答 漂着ごみの回収処理を実施する

問 予算の確保はされているか。

答 7年度1千282万円の予算措置である。

問 今年度、どのような対策を講じていくか。

答 海岸管理者と現状を共有し、対策への支援要請を行い引き続き町民やボランティア、関係団体の協力を得ながら、海岸の環境・景観の保全に努める。

問 昨年度から今年度にかけて撤去したごみの量は。

答 6年度14トン、7年度7月末現在7.2トン回収した。

問 今年度の漂着量をどの程度と推測か。

答 5年度、県が実施した冬季60日間の海岸漂着物モニタリングによれば、本町海岸に約21トンが漂着したとの推計結果が出ている。年間の推計値は示されていないが相当量の漂着があると推測している。



堆積する漂着ごみ(儀間漁港)

問 本町委託の樹木医は、松くい虫の専門医か

答 松くい虫防除の知識・技術等を有する専門資格、松保護士を有しており、適切な専門性を持つ技術者である

問 五枝の松に施した対策は充分であったか。

答 薬剤の樹幹注入や薬剤散布など可能な限りの方法を講じ、国、県、森林の専門家や樹木医とも綿密に連携し、考え得る限りの防除対策を実施してきた。

問 責任の所在は。

答 五枝の松が老木であること、樹形が複雑であること幹や枝が空洞化していたことに加え、クメジマボタルの生息地やカンジダム近くという環境に配慮するなど、複合的な要因が重なり、その結果、枯死に至る症状となった。

問 アカギヒメヨコバイの対策は。現在のところ行っていない。

問 セグロウリミバエの対策は。

答 沖縄県病害虫防除技術センターと果実調査を実施、2か所の家庭菜園で確認され、畑の作物はすべて除去した。また、新たにトラップと誘殺板を追加するとともに、不妊虫の放飼も実施している。

問 南北大東村に対する支援の用意は

答 本町独自の支援は準備していない

問 どのような支援策を予想するか。

答 沖縄県町村会と連携し対応していきたいと考えている。

問 今後、災害の罹災地域に対する支援策を本町独自に構築する考えは。

答 町単独での支援は現状難しいが、町村間での災害地域への職員派遣等で被災地域の速やかな災害復興に貢献できる手段として検討する。



アカギヒメヨコバイによる被害木 (右)



吉永 将志 議員

問 映画「ティダの運命」上映に向けての取組状況は

答 運営する機関と本町の受け入れ機関と協議調整を行っている

問 町の支援内容は。
答 ポスターの掲載。子ども料金半額補助。

問 私たち若い世代は戦争の恐ろしさや実態を知りません。だからこそ歴史を学ばなければ同じ過ちを繰り返す可能性は高くなります。80年前の日本軍による虐殺の事例などを見ても、戦争が起これば誰が命を落としてもおかしくない状況になります。これまでの与那国島での防衛体制強化、南西諸島での様々な軍事演習、2023年7月15日には久米島に初めてオスプレイが飛来。2024年8月7日には久米島射撃場で日米ヘリ実弾訓練が行われています。戦争についても、自分たちが置かれている状況も、私たちは学ばなければなりません。戦争を起こさない、巻き込まれない為に具体的に動かなければなりません。行政が町民を引っ張って欲しいと思います。

答 戦争はあってはならないことで、80年前に起きた住民虐殺がなぜ起きたのかを次の世代

に引き継ぐのも私たちの責務です。大田先生の映画を上映することで平和に対する議論も出来ると考えております。



大田昌秀氏が出演する映画

問 だるま山遊歩道の整備状況は
答 年に1度広場と休憩所の草刈りを行っている

問 どう活用して欲しいと考えているか。
答 観光客、修学旅行生等での散策体験をしてみらっている。自然が豊かなので草刈り以外はそのままの状態を楽しんで欲しい。

問 休憩所の奥のほうは道から木が生えている。あれもそのままということか。
答 道に亀裂が入っていて危険性があるので、どっぴうぶうに

修繕していくかは考えていく。
提案 老朽化した遊具の解体等も早急に対応お願いいたします。



だるま山遊歩道の状況

問 シェルター確保を専用シェルターはない。町が保有する施設を活用しつつ、不測の事態を見据え、宿泊事業者との連携も検討する
提案 シェルターが必要になるのは、親子間、兄弟間、夫婦間等で暴力が起きた場合です。内容としては身体的、精神的、金銭的などがあります。避難しなければならぬ事例は今後も起きることが予想されます。準備をしっかりと行って下さい。

問 今後の推進方針は。
答 官民連携による事業パートナーと町民の健康増進施設について検討していく。

問 SMAPの活用状況は
答 旧久米島中学校の2階教室を活用し、健康運動器具を設置していません。どなたでも利用できる施設を目指しており、幼児から高齢者まで幅広い年齢層での利用があります

問 第2次久米島町地域福祉推進計画と下位4つの委員会の推進状況は
答 今年度開催を予定している

提案 いくつかの委員会においてPDC Aサイクルが出来ていない状況に見える。PDC Aを意識して推進して欲しい。



幸地 猛 議員

問 さとうきびの増産に向けた取り組みは

答 農家の適正な肥培管理を推奨する

問 沖縄県におけるさとうきびは、全耕地面積の約5割、全農家の7割が栽培しており、地域経済を支える基幹作物となっている。近年農家の高齢化や都市化の進退、休農地の増加や肥培管理の遅れに加え、台風、干ばつの影響等により年々減少しているという。沖縄県ではさとうきび増産に向けた取り組み目標及び取り組み計画を策定し、生産者をはじめ、関係者が一体となって取り組んできたという。久米島町のさとうきび増産に向けた取り組みの実績及び評価を伺う。

答 令和5/6年期のサトウキビの生産量が40,570t、令和6/7年期が51,252tと前年より約10,000tの増産となっている。しかし、当初目標としていた生産量には達していない。引き続き早期の株出し管理、適期植え付け及び農家の適正な肥培管理を推奨し、さとうきび増産に取り組んでいく。

問 観光振興は観光協会の組織強化を図っていく

問 観光の推進は観光協会の役割が最も重要だと考える。今回沖縄観光の振興に頑張った方々が、久米島町観光協会の常勤の会長として就任した。久米島観光を推進していくためには、組織強化を含め、行政がこれまで以上に関わって行くべきだと思つが。

答 久米島の観光振興は地域経済発展には一番重要なことだと思つている。新会長も観光振興に大変長けた方であるので、今以上に観光振興に寄与、組織の強化が図れると思われるので、行政も積極的に取り組んでいきたいと思つている。また、DMOと観光協会を同じ部屋に配置して連携を強化出来ないか、会長と協議をしているところである。

問 町民憲章の普及啓発は様々な媒体を活用し町民憲章の実践に取り組んでいく

問 町民憲章は、ほとんどの市町村では役場を訪れる方々が最も目につきやすい場所に看板が設置されている。また、普及啓発も市町村の総合計画

の年に併せて、町民憲章推進協議会が設置されている。久米島町も町民憲章の啓発を、他の市町村と同様な取り組みをしてはどうか。

答 町民の行動自体が町民憲章につながっているという認識である。新たに認識して頂く形で、広報誌の活用、町の公式のLINEで示せばと思つている。町民憲章の看板設置ということも一つの方法だと思つ。推進委員会の立ち上げは今後検討していきたい。

問 スポーツの推進をスポーツできる環境を整備できないか協議していく

問 小中学校生が仲里公園でサッカーに一生懸命頑張っている。町には専用のサッカー場がない。サッカーができる芝生の競技場を。また、3オン3の施設を仲里グラウンドやふれあい公園等に設置する考えはないか、伺う。

答 小中学校生がサッカーが出来る環境整備を協議していく。ホタルドーム横のグラウンドの芝張りや子供たちがのびのびと練習が出来る場を

提供出来るように検討していきたい。3オン3の施設は現在の利用状況と利用者のニーズを踏まえ取り組んでいく。

問 高速船の就航に関して 想定の間であるのでお答えは差し控えたい

問 久米島空路、補助金は廃止の恐れ、高速船11月就航予定、便数や運賃に影響という新聞報道があったが、見解を伺う。

答 高速船が就航した場合、航空会社への補助金は決定したことではないので想定の間にはお答えを差し控えたい。一般論として民間事業の判断になるが、運行便数の見直しとなった場合は、町民生活、観光業界に関わらず農水産物の島内消費など影響が生じる可能性が考えられる。本町としては、第三次観光振興計画にある施策を着実に実行し、お客様に選ばれる観光地づくりに注力することが重要と考える。



富永 肇 議員

問 学校のプール授業とプール設備の状況は

答 児童全員が一定の技能水準を身に付けるよう指導する。プール整備は大規模な修繕が必要

問 プール授業は技能習得だけでなく体力向上、水難事故防止、安全意識の向上に重要な教育活動と考える。授業の現状と課題を伺う。

答 年間計画の中に位置づけ、児童全員が一定の技能水準を身に付けられるように指導している。清水小学校、大岳小学校のプール施設は大規模な修繕が必要となり現在は使用できない状況である。

問 各小学校のプール授業の対応と課題はあるか。

答 すべての小学校はB&Gプールで授業を行っている。移動に関して教育委員会の方で運転手を確保している。生徒の規模数に応じてバス会社に依頼している。スムーズに移動できている。課題は屋外プールなので天気が悪いと授業が行えない。暑さ対策が必要である。

問 清水小学校、大岳小学校の施設の再開は。

答 大規模な修繕と費用がかかるのと移動にかかる手順が確立されていることから今の実施方法がいいという意見がある。2

校の施設は早めに方針を出していかなければと思っている。

問 修繕費用は。

答 機器の更新だけで2プールで6400万円。その他の水漏れ等の見積もりは入っていない。

問 使用されていない学校プールの施設の安全対策を。

答 立ち入り禁止の張り紙やフェンスで入れないようにしている。

要望 既存の学校プールに予算をかけず新たな設備、もしくはB&Gプールの機能強化に努めていただきたい。

問 屋内プール、全天候型トラック競技場は総合的に考える必要があるか。

問 本町のプール施設はB&Gプールのみである。屋外プールとなっており天候などによって使用不可や屋根等もなく日影スペースが無い。熱中症リスクもあり年間を通して使用できる屋内プールの建設の見解を伺う。

答 天候や季節条件に際立されるほか、日陰不足や熱中症リスクの課題もあると認識している。現在の課題を勘案し整備費用やランニングコスト、年間を通した利用となると温水プールが必要となる。維持管理費や利用者負担が大きくなる等、総合的に考える必要がある。

問 全天候陸上競技場の400Mトラック及び2000Mトラック建設の見解は。

答 費用がかなり多額になる。2000Mトラックは検討の余地があるが、維持管理費や整備等も考える必要がある。

問 風の帰る森施設の再開は
答 次年度に新たな運営者を選定し再開を目指す

問 2年ぶりに実証的に施設が解放され多くの町民が利用していた。施設の再開をいつごろと考えているか。

答 今年度は施設の運営方法を再検討するため実証的に施設を稼働させていく。施設の再開時期には今後実施する、いくつかの取り組みを通して得られたアンケートデータなどを基に今年度中に施設運営に関する仕様書案や運営方法を決定し次年度に新たな運営者を選定し、施設の再開を目指す。



屋外プールにより様々な対策が必要



喜久里 強 議員

問 防災倉庫の備品は十分か

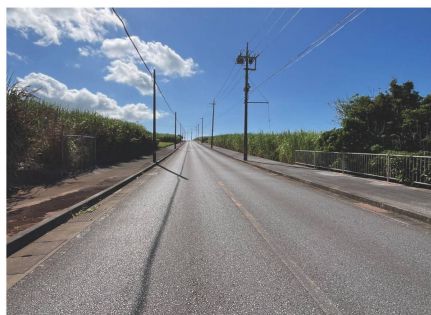
答 今年度整備予定となっている



防災倉庫 (仲里校区)

問 避難所において、小さなお子さんがいる家庭、ペットを飼育している家庭、介護が必要な家庭の避難所のエリア分は考えているか。防災倉庫の備品は十分か。例えば、女性用品、紙おむつ、子供用粉ミルク、トイレットペーパーなど衛生用品類など備蓄は十分確保されているか。

答 避難所における対応は、避難された世帯ごとに仕切り(パーティション)等できる限りの配慮を行っているが、ペット同伴は対応が不十分となっている。備蓄品は、飲料水約6300本、非常食約7000食常備している。子供用おむつ、大人用おむつ、ミルク、トイレットペーパー、トイレの使い捨てパック、生



片側1車線に自転車専用道路を(字宇江城)

理用品ということ、この6項目を9月補正予算承認されたので、今年度整備予定となっている。

問 久米島一周線に区間を設けて自転車専用道路を

答 自転車の交通量や自転車の利用率を踏まえ整備の可能性を検討する

問 本町では自転車に乗ってサイクリングしている観光客や町民をよく見かける。場所によって、大変危険と思われる所が少なくない。町としての安全対策は。山間地または県道の両側に歩道がある地域の

答 沖縄県において健康影響対策検討委員会を年度内に立ち上げることを検討しており、健康への影響を調査するほか委員会の意見をもとに血液検査のあり方などを検討していることから県の動向を注

問 PFAS(PFHXS)による心筋梗塞と脳梗塞のリスクが上昇の可能性があると報告されている。早急に全町民の血液検査を実施すべきでは。

答 自転車利用者の安全対策は、警察・交通安全協会・学校等と連携し、教育・啓発に努める。自転車利用者が安全・安心・快適に通行することを目的とした自転車通行空間の整備は、自転車の交通量や自転車の両立等を踏まえ、整備の可能性を検討する。

答 本町でも準離島住民離島割引の適用を。鹿児島県奄美市や長崎県新上五島町では進学のために転出した学生や介護で往復する親族などに準離島割引を適用している。本町でもこの取り組みを是非すべきではないか。

問 本町でも準離島住民離島割引の適用を。鹿児島県奄美市や長崎県新上五島町では進学のために転出した学生や介護で往復する親族などに準離島割引を適用している。本町でもこの取り組みを是非すべきではないか。

答 本町から転出した学生には、学校教育法で定める学校に在学する者を対象者として、離島住民等交通コスト負担軽減事業により、離島割引を実施している。介護帰省割引は、離島航路運営費等保持事業及び地域公共交通確保維持改善事業を活用した割引制度の新設及び拡充を検討する。

視しながら必要な対応を取っていく。



真栄平 建正 議員

問 利益相反防止対策を

答 規程を設け積極的に取り組む

問 現在の建築単価ではアパート等の新築による供給は採算上困難である。空家の有効活用こそが現実的かつ効率的のある住居供給策であると考えられる。そのような観点から質問する。空き家対策相談員は事業者との利益相反防止のための条件審査はあるか。

答 業務委託契約書で業務内容の目的外利用、提供を禁止している。

問 空き家相談業務の結果、媒介契約が特定事業者に集中していないか調査検証を行っているか。

答 相談、依頼の動向については相談者からの任意で行われるものであるため町として調査は行っていない。

問 相談内容、相談後の動向を把握してこそ、空き家対策、住宅政策に反映させられるのでは。

答 顧客相談のカルテの提出、成約後は成約報告書で状況を確認している。相談内容は十

分な整理はできていない。今後内容の整理をしっかりとやっていきたい。

問 空き家対策のこれまでの成果と今後の活用促進策は。

答 空家バンク登録24件、うち成約19件（賃貸15件、売買4件）。今後空家等管理活用支援法人への空き家対策業務の移管を検討している。

問 過去3年間の空家対策相談員委託料と成約件数は

答 相談員委託料は3年間で745万円。成約件数は令和4年度は賃貸1件、売買2件、計3件。令和5年度は賃貸2件。令和6年度は売買1件。合計6件の成約。

問 委託料が3年間で745万円、空家調査が約1000万円、計1,745万円。成約件数6件、一件当たり290万円余を要している。成果が十分上がっていない、制度仕組みに問題があるのでは。

答 必要な予算を執行したと考

問 事業評価制度を導入しては。まずは内部での委員会を立ち上げ、外部委員へ移行することを検討すべきでは。

答 適正に予算執行されているか、まずは内部委員会を立ち上げ、外部委員会もおのずと出来上がっていくので検討したい。

問 公務員の兼業が緩和される方向に進んでいる。職員を守り、行政の公平性、透明性のある業務遂行のためにも利益相反とならないよう規程を設けるべきでは。

答 規程を設けることが最も有効、積極的にすすめる。



空き家再生

問 専門家としての助言、提言というのが政策参与に求める基本的なことである。どのような助言提言が文書で行われたか。

答 文書での助言提言はない。年度を通しての報告書的な取りまとめを協議したい。

問 飲料水、農業用水の安定供給を

答 飲料水は地下水活用、農業用水はダムの一元化検討する

問 農業用水の一元化には土地改良区の合併が必要では。町全体のため、農家のため良いと考えるのであれば積極的にすすめるべきでは。

答 以前に合併のため2人の職員を派遣し、合併調印手前まで行った。今後、町として合併に積極的な姿勢を示すためにも職員を派遣できるか検討する。



新垣 幸子 議員

問 一般財団法人魅力化財団の立ち上げを

答 組織の運営体制や人材確保を学び検討する

問 174名。この数字は、令和7年4月1日現在の久米島高校の全体の在籍者数である。定員が360名であるが、174名で48%となり半分を割っている。そして、在籍者数に対する島外中学出身者数は35名ということで在籍する生徒の20%が離島留学生であることが分かる。また、1年生から3年生までの園芸科は20名前後となっている。普通科においても今年度の入学生は54名で安定しているが、2年生が26名、3年生が39名であり、普通科が各学年2クラスあるが、この人数だと今後1クラスになりかねないような状況になってきている。「これは早くなるとかせねば」と危機感を抱いた。さて、「久米島高校の魅力化と発展を考える会」は、新体制の構築に努めると答弁にあるが、構成メンバーや今後の予定は。

答 今年度の早いうちで再開をスタートさせて、これからの魅力化、次のステージに向けて取り組んでいきたいと考えている。

問 幼・小・中・高校の魅力化と連携体制が重要になるがその取り組みは。

答 中学校で行っている「まなびや」での町営塾講師や高校生による指導のほか、今年度

町政のいいを問う・一般質問

問 子育て世代や若い女性の人口減少対策は。

答 学習センターの職員体制の強化は個別指導講師3名、検定対策講師1名、今後1名配置予定

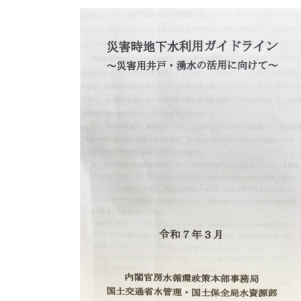


久米島高等学校

は町営塾とまなびやスタッフが連携して、高校生が中学校に訪問し、久米島高校の紹介や高校生活について講話する企画を予定している。

問 じんぶん館のサポート体制の強化は。

答 4月から舎監を配置し寮生への生活指導等の充実を図りながら運営している。ハウスマスターが1名欠員のため早期に人員確保に努める。



災害時地下水利用ガイドライン
～災害用井戸・湧水の活用に向けて～

問 補助事業を実施しても防災士の確保は必要と思うが見解を。

答 近年の防災への備えと意識向上を含めた形で防災士取得の補助を内部で検討している。

問 防災業務において、防災班の設置又は専属の担当を配置することを要望したいが見解を。

答 専従職員を配置しスピード

問 災害時協力井戸・湧水制度を導入しては

答 国のガイドラインをもとに導入が可能か検討する

答 子育て世代には支援事業、後者には「女性が活躍できる場」づくりを目指し取り組み。



第3次久米島町観光振興基本計画

問 第3次久米島町観光振興基本計画の中に観光に携わるガイド人材育成・充実があるが、現況と今後の課題は。

答 久米島町観光協会では、本町の文化や歴史、自然に関する知識を備えたガイド人材育成事業を令和6年度から開始し、初年度は11名、本年度は21名が博物館学芸員によるガイド人材育成研修を受けています。修了後は観光協会及び観光バス事業者が連携し、修学旅行や団体旅行の際、バス添乗ガイドとして活動している。

問 ガイドの需要開拓と質の向上を図る財源確保を

答 一般財源あるいは補助メニューを探していく

感を持った対応が求められており、職員配置に向け検討する。



棚原 哲也 議員

問 バーデハウス再開の進捗状況は

答 事業パートナーと事業化の協議中

問 事業パートナーの決定をしたのはいつか。

答 交渉権者の決定は2月27日。

問 事業パートナーは国内企業か。

答 与那国島でツアー、アクティビティ、宿泊施設を提供している国内企業。

問 キャンプ場からウミガメ館東側の芝生エリア内で収まる協議をしているのか。また、エリアの拡大検討もしているのか。

答 今のところ施設内で収まる。具体的に提案書が出たときに精査し最終的に公表する。

問 バーデハウスは修繕して活用するのか。

答 改修して活用すると聞いている。

問 宿泊施設もこれからということか。

答 これからだと言っている。

問 いつ頃開業したい等の話はないか。

答 提案概要書が出てから、いつ頃と出していくつもり。



事業パートナーが決定したバーデハウス

問 風森施設の再開は次年度、運営者を決定、再開を目指す

問 実証的に施設を稼働とある。どれくらいの期間開業したのか。

答 5月に4日、6月に1日、8月に1日の計6日の開館。

問 開館時にアンケートが得られたとあるが、その内容は。

答 利用する際に感じた問題点。不便な点などを聞いている。

問 町の考えは指定管理方式での業者募集か。

問 久米島斎場周辺の環境美化はゾーンの整備合わせ周辺緑化を計画



再開を目指す風森施設

答 事業主体は町で、町内で主体性を持って運営して欲しいというところを勘案すると指定管理制度になじむかも含め検討している。

問 旧島尻線の道路まで階段で入口を開ける計画もあったと思うが施設の整備は。

答 施設を動かしながら併せて検討していく必要があると考えている。

問 霊園整備基本計画とあるが、ゾーンの整備計画は。

答 斎場入口に駐車場ゾーン、東側を下りて墓園ゾーンが今後の予定であるが、納骨堂整備で一旦停止している。納骨堂の利用状況を見ながら施設を計画していく。

問 斎場周辺の緑化を早めに行うことは出来ないか。

答 眺望に配慮しながら植栽は検討していきたい。

問 町道比嘉3号線の桜並木が倒木等で少なくなっている。整備できないか。

答 比嘉3号線の桜50〜60本を確認している。植栽できるか検討したい。

問 霊園公園の植樹としてどういうものがあるか検討しているか。

答 納骨堂周辺、比嘉3号線を含め、在来種の桜、別の樹木に関しては、適した樹木なのか含め植栽する際は検討したい。



宇江原 総清 議員

問 疫学調査を拒否するのは怖いからか

答 国の調査結果等でも放射性物質の影響なし

問 系数数前与那国町長が「一線を交え、差し違える覚悟はあるか」と言えば、大政翼賛会の声がすると言いたい。軍靴も聞こえると。本町では毎日のように戦闘機が鳥島射爆撃場へと向かっている。町長はジョン・ミッチェルの米公文書を確認していないとか疫学調査も拒否するのは、健康被害の実態が怖いからか。

答 国の環境調査結果や健康診断の結果、放射線物質の影響はないと考える。

問 鳥島射爆撃場問題の証拠を言う。①ジョン・ミッチェルの米公文書はバンドエリアで放射性物質の危険性を示したこと。②矢ヶ崎克馬当時琉大教授も鳥島近くから高濃度の放射性物質を検出したと。③劣化ウラン238は人工的なもので半減期が45億年。④8年程前から250k等の爆弾投下がない。喜んでるのは久米島駐屯基地の皆さんでは。放射性物質は煙草の煙20分の1で目に見えないとも。町長はそれでも住民健康に影響がないものといえるのか。

答 原子力規制庁も住民に影響はないと言っている。

問 国は水俣病等に関してもウソを重ねて隠蔽した。このことはイスラエルのネタニヤフがガザ地区で骨と皮の幼児の餓死等光景を見て捏造と言っているのと同じ。町長には町民の生命を保護する認識はあるのか。

答 町民の生命を守るという責務はある。

問 鳥島射爆撃場問題を見て見ぬふりをしているのが実態であり問題だ。もっと問題なのは町民だ。町民自体の意見を言わない、見て見ぬふりをする。これは町民の本質だと思う。



250キロ砲弾が見える約20年前の鳥島射爆撃場

問 久米島住民虐殺レリーフの設置は上田の森設置要請の却下をした

問 45年6月27日、久米島に海軍部隊で配備された鹿山正以下30名が住民20名虐殺。谷川さん一家、乳児を含む7名が虐殺されたのが同年8月20日。沖縄戦80年を迎え、神里総会長等有志が80周年追悼委員会を結成した。谷川さん一家が惨殺された8月20日に追悼会を開催。併せて犠牲者を悼むレリーフの除幕式を行った。私達は久米島住民虐殺事件が繰り返されないこと、特に子供達が戦争の恐ろしさを理解するためレリーフの作成にあたった。レリーフ設置の件で、上田の森を予定、申請したが断られた。その理由は。

答 町文化財に指定された上田森に隣接、名勝地保全の観点から不許可とした。

問 本件のレリーフは不浄か。
答 不浄との理由ではない。また、財産管理委員会の意見を

聞いて不使用にした。

問 沖縄タイムスのインタビューに本音で対応したことは勇気あること。今後とも多角的見地から町有地財産管理委員会の諮問を受けて十分な判断をしていただきたい。

ここでお礼。本願寺久米島普教所が本件レリーフの仮設置をさせて頂きました。大変感謝申し上げます。この場を借りてお礼申し上げます



久米島住民虐殺追悼式

その他の質問

・バーデハウスと階段式護岸の撤去について



喜久里 猛 議員

問 観光協会の内部強化は

答 観光対策推進事業費補助金を増額している

問 観光協会の職員体制は

答 職員8名に会長を含め9名体制となっている。

問 新たな観光地の設定は

答 比屋定バンタに全国的に人気の高いポケットモンスターがデザインされたマンホールを設置し、更なる魅力化を図っている。

問 観光地の整備等は

答 観光客の利便性や満足度の向上に向け、観光協会や観光事業者と連携を図りながら取り組んでいく。



ポケットモンスターがデザインされたマンホール（比屋定バンタ）

問 サトウキビ作の将来は

答 農家所得の向上に取り組んでいく

問 外来品種の雑草問題は

答 アメリカススメリ等の雑草は島内複数箇所繁殖が確認されている。キビ農家に雑草対策の注意喚起を行うとともに国の補正予算を活用し、除草剤購入の補助を実施している。

問 単収低下問題は

答 単収増に向け農家支援を行うとともに、早期の株出し管理、適宜植え付け及び農家の適正な日割り管理を推進し取り組んでいく。

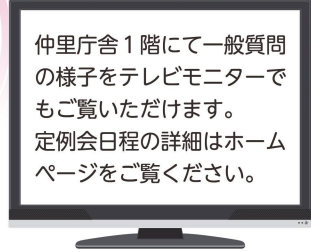
問 生産資材の高騰は

答 世界情勢や為替の影響から農業用生産資材の価格が高騰し、高止まりしている状況で農家経営を圧迫している状況となっている。サトウキビの生産向上を図るため、堆肥購入助成や土づくり対策への助成を行い、単収増による農業所得の向上に取り組んでいく。

12月定例会の議会傍聴へ行こう!!

定例会は **12月2日(火)～5日(金)** **開会予定**

定例会日程の詳細はホームページをご覧ください



仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでもご覧いただけます。定例会日程の詳細はホームページをご覧ください。



ねえ 教えて!

委員会・議員活動レポート

活動の様子を 見てみよう!



Q 議会って 定例会・臨時会以外では何しているの？

A 議会では定例会や臨時会のほかにも様々な 委員会活動や議員活動を行っているよ!

町村議会正副議長・正副委員長研修会 (8月19日)

南風原町中央公民館で町村議会正副議長・正副委員長研修会があり、議会議員のなり手不足と女性議員の議会参画、地方議会が担う主権者教育、議員報酬の見直しに向けた手順等の研修が行われた。

全国的には町村議会議員のなり手不足が深刻な問題とされている。本町ではまだその問題に直面していないが、将来の人口減少に伴い議員のなり手不足も懸念される。議会が取り組むべきこと、町全体で取り組むべきことが述べられており大変参考になった。女性議員について、女性議員の割合は増加傾向にあるが本町では低いままであり、その改善が解消の決め手の一つと考えられており、その取組みも勉強になった。

議員定数調査特別委員会副委員長 喜久里 強



委員会・議員活動レポート

町村議会議員・事務局職員研修会 (10月8日)

「議員の役割と負託される職務」についての講演会に参加しました。講演の中で議員に求められる資質として挙げられていたのが、①代表性と住民理解②専門性と政策形成能力③コミュニケーション能力と共感力④倫理性と誠実さ⑤柔軟性と適応力⑥責任感と情熱の6つ。

今後もそういった視点を意識し政治活動に取り組んで参ります。

町民の皆様におかれましても6つの視点を参考に議員を評価して頂き選挙に望んでいただきたいと思います。

総務・文教・民生委員 吉永 将志



議会活性化特別委員会

6月に行われた久米島町議会報告会・意見交換会で町民の皆様から頂いたご意見・ご要望を要望書として議会活性化特別委員会委員長新垣幸子より町長に提出させていただきました。

- 要望① 奥武島の港について
- 要望② ごみの分別について
- 要望③ 人口減と観光入域客の減少について
- 要望④ 介護人材不足について
- 要望⑤ 国指定五枝の松の松くい虫対策について
- 要望⑥ 久米島まつりについて
- 要望⑦ 買い物困難者について



議会報告会・意見交換会で頂いたご意見・ご要望の内、上記7項目を重要な要望として町へ対応を求めます。

町からの回答は久米島町議会 HP : <https://www.town.kumejima.okinawa.jp/categories/gikai/> をご覧ください。

議会の
うごき

■令和7年8月 ■■■■■■

- 1日・沖縄県後期高齢者医療広域連合全員協議会
(赤嶺議員)
- 4日・臨時会
 - ・議会運営委員会
 - ・議員全員協議会
- 5日・議会広報調査特別委員会
(議会広報調査特別委員)
- 6日・沖縄県介護保険広域連合議会全員協議会
(吉永議員)
- 6日～8日
 - ・決算監査(盛本議員)
- 15日・建設・経済委員会(建設・経済委員)
- 17日・みどり丸遭難犠牲者追悼法要(議長)
- 19日・町村議会正副議長・正副委員長研修会
 - ・議会事務局職員研修会
 - ・監査事務局職員研修会
- 22日・沖縄県後期高齢者医療広域連合議会
(赤嶺議員)
- 31日・球美の日イベント(議長)

- 8日～12日
 - ・定例会(開会・議案審議・一般質問)
- 12日・議会広報調査特別委員会
 - ・建設・経済委員会
- 16日～17日
 - ・決算審査特別委員会
- 20日～21日
 - ・久米島まつり
- 25日・建設業協会要請行動(議長)
- 29日・定例会(一般審議・閉会)

■令和7年10月 ■■■■■■

- 6日・南部地区市町村議会議長会
役員会・定例総会(議長)
- 7日・沖縄県町村議会議長会定例理事会・総会(議長)
- 8日・町村議会議員及び事務局職員研修会(全議員)
- 9日・子ども議会リハーサル
- 21日・議員全員協議会
- 26日・久米島マラソン
- 27日・臨時会
 - ・議会運営委員会
 - ・議員全員協議会
- 29日～30日
 - ・離島振興市町村議会議長会全国大会(議長)
- 30日・子ども議会本会議(全議員)

■令和7年9月 ■■■■■■

- 1日・議会運営委員会
- 4日・旧盆(ウンケー)
- 5日・旧盆(中日)
- 6日・旧盆(ウークイ)

子ども議会本会議が開催されました

令和7年第7回子ども議会本会議が10月30日久米島町議会議事堂で開催されました。

球美中学校・久米島西中学校両校から選ばれた14名の子ども議会議員が一般質問を行いました。

緊張した面持ちではありましたが、全議員が未来の住みよい久米島のために各々の考え・提案を述べました。

※子ども議会本会議の詳細は1月5日発行議会だより子ども議会特別号にて掲載させていただきます。



子ども議会本会議

編集後記

私が町議会で鳥島射撃場の早期返還等を訴えてから10数年だ。ジョン・ミッチェルが島の危険度を示した米公文書の発表、矢ヶ崎克馬氏が高濃度の放射性物質の訴えにも町当局や町民の皆さんは反応なし。ノーベル化学賞受賞決定の北川進氏は発表当初、嘘つき呼ばわりされたこの事。

- ① 町民の命と健康の危険性
- ② 射撃場の石棺化と植栽
- ③ 豊かな漁場を取り戻したい。

(議会広報調査特別委員会)

委員 宇江原 総清

議会広報調査特別委員

- 富永 肇
- 赤嶺 秀徳
- 宇江原 総清
- 吉永 将志
- 喜久里 登強
- 保久村